

## 携帯型ゲーム機で出会い系サイト！～そんなことできるの？～

【事例】携帯型ゲーム機でインターネットを見ていて、出会い系サイトを見つけ、登録してしまいました。完全無料で登録すれば友達を紹介してくれると表示されていた。登録すると、「ポイントを買え。お金を払え。IPアドレスを取得したから家に行くぞ。法的措置を取る」と脅された。怖くなり、母親のクレジットカードのカード番号を入力した。「これで終わる」と思ったのに、次から次へと「お金を払え。家に行く。訴える」とメールが来てしまった。どうしたらよいか。（中学生 男子）

事例の中学生の携帯電話はフィルタリングが設定されており、家のパソコンもフィルタリングソフトが導入されていました。中学生の親は、これで「悪質サイト対策は万全」と安心していたのに、意外な盲点がありました。

中学生の話では、「親には言えないことや学校の友達にも恥ずかしくて聞けないことが、いっぱいあった。だから悩み事を相談し合える友達が欲しかった。ある時、携帯型ゲーム機でインターネットが使えることを知った。家では、無線LANが使える環境であり、試しに携帯型ゲーム機を使ってみたら、インターネットにつながった」ということです。

現在、通信技術の発達により、パソコンだけでなく、携帯電話、スマートフォン、タブレット型端末機、携帯型ゲーム機までインターネットが使えるようになっています。こうした技術の進歩に対して保護者である親はついていけなくなっている現状がありますが、子どもたちは、こうした新しい機器をすぐに使いこなす力を持っています。

### 【消費者へのアドバイス】

- ①インターネットに接続できるのは、パソコンや携帯電話ではありません。通信技術の発達により、思いもしなかった家電製品からも接続できるようになりました。子どもに家電製品を買い与える時は、取扱説明書をよく読んでから渡しましょう。
- ②取扱説明書を読んでもよくわからない時は、メーカーのお客さま相談室に相談しましょう。
- ③フィルタリングソフトは万能ではありません。過信は禁物です。日ごろから子どもがどんなサイトを見ているかよく観察しましょう。
- ④クレジットカードの保管には、細心の注意を払いましょう。万が一、子どもが親のクレジットカードを使ってしまったら、親のカード管理責任が問われることがあります。
- ⑤事例のようなケースでは、未成年者の契約として取り消すことができる場合があります。最寄りの消費生活センターに相談しましょう。(2011年9月)